

2018年度 Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成 第1期 採択事業決定！

公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京では、芸術文化によって東京2020大会に向けて開催気運を高め、文化の魅力あふれる都市東京の実現をめざして、「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成（※1）」（旧東京文化プログラム助成）を実施しています。当助成では、「気運醸成プロジェクト支援」「市民創造文化活動支援」「海外発文化プロジェクト支援」「未来提案型プロジェクト支援」という4カテゴリーを設置し、東京都が主導する文化プログラムの考え方（※2）を踏まえた、芸術団体、民間団体、企業等が実施する様々なプロジェクトを支援しています。

この度、「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」第1期の公募期間（2018年3月8日（木）～4月13日（金））に申請のあった計93件の事業の中から、革新性・独創性、影響力・波及力、実現性などの視点から、三次にわたる審査の結果、合計24件を採択いたしました。

<カテゴリー毎の採択件数>

気運醸成プロジェクト支援	動員力や話題性・波及力があるプロジェクト	7件
市民創造文化活動支援	都民の方々が主体的な表現者となる芸術文化活動	8件
海外発文化プロジェクト支援	海外からのアーティスト等の新しい作品発表	5件
未来提案型プロジェクト支援	アートとサイエンスを融合した新しい発想・表現を追求する挑戦的なプロジェクト	4件

採択事業の詳細に関しては、次頁2018年度「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」第1期 採択事業一覧をご参照下さい。

※1 「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」とは：2016年秋より東京文化プログラム助成として開始し、2018年にTokyo Tokyo FESTIVAL 助成と名称を変更しました。2020年に向けてより多くの人々の東京文化プログラムへの参加促進、2020年以降の東京の芸術創造環境向上を目的としています。Tokyo Tokyo FESTIVALは、2020年の大会期間を含む約半年間に実施される東京文化プログラムの総称です。また、そこに至るまでの期間を「Road to Tokyo Tokyo FESTIVAL」と称して気運醸成を図ります。

※2 「東京都が主導する文化プログラムの考え方」とは：

オリンピックの精神に基づき、史上最高の文化プログラムを展開するとともに、文化の面のレガシーを2020年以降に継承し、世界一の文化都市東京の実現につなげていく

- ・ 伝統と現代の共存をはじめとした独自性・多様性を持つ東京の文化を世界に発信するとともに、国際的な芸術文化交流を積極的に展開
- ・ 障害者、高齢者、子供、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出
- ・ 新たな発想を取り入れた芸術文化活動の推進や次世代を担う人材の育成
- ・ 都市全体で文化的な祝祭感を創出
- ・ 国、他の自治体、芸術文化団体等との連携・協力によるオール・ジャパンでの気運醸成

■2018 年度 Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成 第 1 期 採択事業一覧

気運醸成プロジェクト支援（7件）

（単位：千円）

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
一般社団法人 Arts and Creative Mind	現代アウトサイダーアート リアル ～現代美術の先にあるもの・山下清から現代アーティストまで（仮）	1,447	福祉の文脈で発信されることの多い日本のアウトサイダーアート、アール・ブエット作品を、現代を生きる同時代のアートとして捉え直し展示。アートを通じたインクルージョンのレガシーを東京原宿から世界に向けて発信する。
日比谷音楽祭実行委員会	日比谷音楽祭	10,000	日比谷公園という歴史と伝統のある日本の「音楽の聖地」において、世代、国籍、障害を超え、誰もが無料で参加できる音楽祭を目指す。参加型コンテンツなどの提供を通じ、音楽家と聴き手双方の音楽リテラシーを向上させ、国際都市東京にふさわしい音楽文化を創造する。
特定非営利活動法人 東京フィルムメックス実行委員会	第 19 回東京フィルムメックス ／TOKYO FILMeX 2018	12,000	2000 年の設立以来、アジアの新進作家の作品を紹介し「映画の新しい流れ」を提案する映画祭。「映画祭は作家を育てる装置」と捉え、斬新作を東京に集めて上映する。聴覚障害者を対象とした上映会や、批評をテーマにした国際フォーラムも開催予定。
株式会社デザイナーナート	DESIGNART TOKYO 2018	12,534	世界屈指のミックスカルチャー都市・東京を舞台に、世界中から建築、インテリア、プロダクト、ファッション、フード、スポーツ、テクノロジー等ジャンルを超えたクリエイティブなモノ、コト、人を集め提示するデザイン&アートフェスティバル。
寺田倉庫株式会社	TOKYO CANAL LINKS (HANEDA-TENNOZ)	2,500	羽田空港から湾岸エリアの既存施設をアートによって再活用し、運河で「東京」の歴史や文化をつなぎ 国際都市“TOKYO”への架け橋となることを目的とするアートプロジェクト。
一般社団法人 TYA Japan (Theater for Young Audiences Japan)	TYA インクルーシブアート フェスティバル 2019 (仮)	6,000	児童・青少年向けの舞台芸術の中でも、「障がい者とアート」をテーマとし、障害者であるアーティストの作品、障害者と創作した作品、観客が障害者であることを想定した作品など、あらゆる意味で包括的な芸術の祭典。
公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会	東京アート&ライブシティ プロジェクト	1,650	劇場・ホール・ギャラリー・映画館などの文化芸術拠点が集積している日比谷、銀座、築地エリアの連携を強化し、日本固有のアート&ライブ&グルメの複合拠点を創造。多言語で情報を発信し、都市の魅力向上に寄与する。

市民創造文化活動支援（8件）

（単位：千円）

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
neoneo 編集室	東京ドキュメンタリー映画祭	590	東京で開催する、映画・テレビ・ネット動画の枠を超えた、公募制のドキュメンタリー映画祭。都民を中心にアマチュアから広く作品を募り、作品を上映すると共に、プロの作品やテーマ別の特集を組み、新旧世代、作り手と観客が交流する場を創出する。
中野フレッシュロックフェスティバル実行委員会	NAKANO Fresh ROCK FES.2019	3,546	高校生の高校生による高校生のための音楽フェス。音楽活動に全力で取り組む高校生アーティストに大きな発表の場を提供するとともに、高校生が制作、運営、演出に携わる。
渋谷ズンチャカ実行委員会	渋谷ズンチャカ！2018	12,000	音楽に詳しくなくても、楽器ができなくても、人種や性別、年齢を超えて誰もが音楽体験を楽しめる、渋谷のまちなかで展開される音楽イベント。市民ボランティアが企画の立ち上げから運営までを主体的に担う。
特定非営利活動法人 Ubdobe	THE UNIVERSE	4,500	国籍・言語・障害の有無など違いを越えた心の繋がりを生むことを目的として開催される、音楽×ダンス×映像×照明×ファッションに福祉的要素をミックスし、東京のあらゆる場所を舞台にしたアートパフォーマンス。
とっておきの音楽祭 in Machida 実行委員会	とっておきの音楽祭 in Machida 2019	3,200	障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指す音楽会。演奏・歌声・ダンスなどのチカラを表現することで、障害者の可能性を広げ、社会参加を促し、障害者・健常者双方の理解を深め合う機会となる。
有限責任事業組合 別視点	別視点フェスティバル	2,948	何か好きなこと、やり続けていることのある、様々なジャンルの熱狂者（マニア）の「別視点」（それぞれ独自の見方）を紹介。参加者が新しい「価値の評価の仕方」「価値の表現の仕方」を発見することで、多様性ある日常生活の楽しみ方を育てることを目的としたお祭り。
株式会社 cinra	NEWTOWN 2018	6,389	2017年から多摩ニュータウンで実施している市民が主役となる芸術文化イベント。これから日本が世界に先駆けて直面する超高齢化社会という課題に、芸術文化活動の実践を通して取り組んでいく。
トロールの森実行委員会	野外×アート×まちなか トロールの森 2018	2,565	杉並区の西荻/善福寺地域を会場とする、参加者、小学校、文化活動団体、地域住民からなる実行委員会で開催され、野外アート展やまちなか企画で構成される複合型の国際アート展。

海外発文化プロジェクト支援（5件）

（単位：千円）

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
ゲーテ・インスティトゥート東京ドイツ文化センター	亡命中ーゲーテ・インスティトゥート・ダマスカス@東京	1,900	難民として生きるアーティストたちが直面する様々な問題の交換・議論の場として、現在亡命中のシリア人アーティストを招聘し、6週間の滞在制作を行う。
シアター commons 実行委員会	シアター commons' 19	12,000	オリンピックという祝祭を批判的に捉え、その起源である古代ギリシャ、近代オリンピック、1964、2020年の2つの東京オリンピック、そして未来という4つの時間軸ごとにテーマを設定し、演劇公演、レクチャー形式のパフォーマンス、ワークショップなどを集中的に実施する。
Art in Country of Tokyo 実行委員会	Art in Country of Tokyo 2019	1,500	韓国で開催されている EXPERIMENTAL FILM & VIDEO FESTIVAL IN SEOUL との共同企画。外国人アーティストの視点で東京を捉えなおし、23区外のエリアをコンテンポラリーアートの展示およびパフォーマンスを行い、結びつけるプロジェクト。
アジアン・ミーティング・フェスティバル	アジアン・ミーティング・フェスティバル（AMF）台湾・東京プログラム	3,097	日本とアジアの音楽家やオーガナイザーの交流を促し、新しいネットワークの形成を目指す実験音楽・即興音楽・ノイズ分野のフェスティバル。コンサート、ワークショップ、レコーディングセッションなどを通じて、新たなコラボレーションや表現を追求する。
ライフアートユニオン	「バリ姫神話」日韓共同舞台製作プロジェクト	2,771	韓国と日本を代表するプロフェッショナルな音楽、演劇集団がコラボレーションし、日本の古典芸能と、韓国の伝統音楽「農楽」や神話などを、接触・融合させることで、現代における新しい東アジアの芸能スタイルの創造を目指す。

未来提案型プロジェクト支援(4件)

(単位：千円)

団体名	活動名	交付 決定額	活動内容
TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT	TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH	7,465	2020年を目前に控えた東京の姿を、現代テクノロジーやメディア環境を批評的に扱うアーティストによる多様な視点からリサーチ・作品化し、2020年以降の社会へと受け継ぐことを目的としたプロジェクト。
一般社団法人 MUTEK Japan	MUTEK.JP2018	10,000	文化芸術の創造・育成・発信を多角的に紹介することを目的とし、テクノロジーとアートを軸に世界各国から選りすぐりの作品とアーティストが一堂に会する、世界最先端の電子音楽・デジタルアートフェスティバル。国際的な芸術・文化を東京から世界に向け発信する。
NPO 法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会	Save the Ear～耳と長く付き合うために～	3,080	2011年の設立から「きこえのユニバーサルデザインを目指して」行ってきた活動の一環として、「難聴者にも聞こえやすいスピーカーシステム」を開発した。難聴者自身が新しい聞こえの世界を体験するコンサートイベントを開催する。
ヴォロシティ株式会社	Art Hack Day	6,681	アーティストの地位向上と新たなアート集団や表現が生まれることを目的とした、アートに特化したハッカソン。2014年に日本で初めて開催し、これまで5回開催してきた。

アーツカウンシル東京とは

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。また、2020年に向けて文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京
 オリンピック・パラリンピック文化戦略担当：石綿、角南
 TEL：03-6256-8433 E-mail：bp-josei@artscouncil-tokyo.jp

<本リリース、掲載に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城寺
 TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp